

編集後記

第5号をおとどけします。森田の怠慢で、発行がすっかり遅くなってしまいました。早く原稿をお寄せいただきました船田さんにお詫び申し上げます。今回は、船田さんと森田のいずれも訪碑記2件と、近着元朝石刻資料の紹介ですが、やや薄冊となりました。引き続いて次号を編集しておりますので、研究集会の記録その他の活動報告関係は、次号にまとめて掲載することといたします。なお、本号についても、立命館大学の牛根靖裕氏に版下作成のご協力をいただきました。お礼申し上げます。牛根さんをはじめ、船田さんや私の現地調査にご同行くださった方々や、研究会にご参加くださっている方々など、30代、場合によっては20代の若い研究者のみなさんのご協力によって、本研究は支えられています。これが、科研費申請にあたって目標とした、「次の世代の研究者への学の継承」の実現に幾分なりとも結びついていけば、と存じています。（もりた けんじ）

13、14世紀東アジア史料通信 第5号

2005年9月発行

編集 森田憲司

発行者

日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）

「13、14世紀東アジア諸言語史料の総合的研究

元朝史料学の構築のために」研究グループ

（代表 森田憲司）

連絡先

〒631-8502 奈良市山陵町 1500

奈良大学文学部史学科 森田研究室

Newsletter on Historical Documents
in the 13-14th century East Asia

No.5

September 2005

Edited by
KENJI MORITA

Published by
Research Project on "Historical Documents in the 13-14th century East Asia"
Granted in Aid for Scientific Research of JSPS, Basic Research(B)

Kenji Morita, Department of History, Faculty of Letters, NARA UNIVERSITY, 1500 Misasagi, Nara
JAPAN